

# 高 伊那北高校同窓会報

発行  
伊那北高等学校同窓会  
TEL 0265(72)7312  
FAX 0265(76)5585  
<http://www16.ocn.ne.jp/~inakit/>  
印刷 (南)マスマタ印刷

## 同窓会新会長に北原明氏 一般財団法人移行を承認 23年度定期総会開く

同窓会は6月18日に定期総会を開き、亡くなった小林弘一会長の後を受けて、新会長に本校校長などを務めた北原明氏(高10回卒)を選出した。副会長も唐木近一氏ら3人が退任、新たに竹松徳門、唐木孝之、馬場秀則の3氏が選ばれ、監事3氏の計10人が就任した。新役員はすべて新制高校卒に入れ替り、創立100周年事業などに向けた新体制がスタートした。

懸案だった同窓会(伊那蕪ヶ丘会)の法人格見直しでは、一般財団法人に移行することが正式に承認され、申請手続きに入るようになった。総会は伊那市生涯学習センターで開かれ約140人が出席した。唐木会長代行、松山校長、東條関東支部長、野沢顧問らのあいさつ、祝辞の後議事に入り、平成22年度の会務・決算報告、23年度事業計画・予算案が全会一致で承認された。

新役員体制は選考委員会、理事会で協議され、中村選挙副委員長の報告通り、北原新会長以下10人が盛大な拍手で選出され、任期2年の新体制が整った。北原明氏は新会長就任のあいさつで、今後の同窓会の役割について①会員相互の親睦、連帯、各支部とのネットワークの強化により、創立100周年事業の準備を進める ②世代間の違いを共に分かち合う ③現役生徒と母校教職員への支援を進める——と強調した。



定期総会の様子

野県などと協議しながら、移行の申請時期や、資産管理について具体策を採っていく方針だ。(2面に詳報) このほか総会では、経費の節減やエネルギー問題に対処するため、同窓会館に太陽光発電設備を設置することなどが承認された。総会前にア

同窓会の法人格見直しは、国の方針転換に沿ったもので、現行の公益法人格を維持するためには会の資産運用や公益事業の義務化などが格段に厳しくなり、困難と判断したた



新会長経歴

北原 明(きたはら・あきら) 昭和14年生まれ、72才。伊那市手良野口出身。伊那北高

校卒業後、東京教育大学文学部史学科へ進み、教職の道に入る。静岡県立清水西、清水南高校で9年、長野県に戻り岡谷南、伊那北、高遠各校で教員。県教委教学指導課主事、高校教育課指導主事、高遠高校長。再度高校教育課で管理係長・課長。平成9～12年伊那北高校校長、12～15年佐久長聖中学校校長。15～22年伊那市教育長。

トラクションとして、母校出身で映像作家として「伊那の井月 ほかいびと」の監督を務めた北村皆雄氏(高13回卒)の講演会が一般公開で行われ、多くの人々が熱心に聴講した。(講演要旨6頁別掲) 総会終了後、同センターで懇親会が開かれた。岡部関西支部長の発声で乾杯、100周年への話題などで盛り上がった。竹松館長の音頭で応援歌「天竜河畔」校歌「朝日の光」を斉唱、散会した。